

令和 6 年度 病院事業決算状況

都道府県名 大阪府

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ			
-	大阪府立病院機構	2	東大阪市	総合病院	20
大阪市	総合医療センター	3	阪南市	阪南市民病院	21
大阪市	十三市民病院	4			
堺市	堺市立総合医療センター	5			
岸和田市	岸和田市民病院	6			
豊中市	市立豊中病院	7			
池田市	市立池田病院	8			
吹田市	吹田市民病院	9			
泉大津市	泉大津市立周産期小児医療センター	10			
泉大津市	泉大津急性期メディカルセンター	11			
貝塚市	貝塚病院	12			
枚方市	市立ひらかた病院	13			
八尾市	市立病院	14			
泉佐野市	泉佐野病院	15			
和泉市	市立病院	16			
箕面市	市立病院	17			
柏原市	市立柏原病院	18			
藤井寺市	市立藤井寺市民病院	19			

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名 大阪府	
市町村・組合名			
病院名	大阪府立病院機構		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	8,837,685
決算規模(千円)	3,279,987,111
標準財政規模(千円)	1,751,270,393
財政力指数	0.75388
経常収支比率(%)	96.4
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,052			
1 経常収益	3,052			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	3,052			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,052			
2 経常費用	3,052			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	53.3
材料費	-	-	27.1	33.0
(うち薬品費)	-	-	14.8	18.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	14.1
減価償却費	-	-	8.6	7.4
経費	-	-	22.0	17.2
(うち委託料)	-	-	11.8	10.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	3,052			
(うち支払利息)	3,052	-	0.9	0.7
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		93.0	94.3
医業収支比率	-		83.9	89.6
修正医業収支比率	-		81.0	87.6
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.2	7.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	8.5
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	7.6
実質収益対経常費用比率	100.0		81.6	87.1

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名 大阪府	
市町村・組合名	大阪市		
病院名	総合医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,752,412	
決算規模(千円)	2,064,170,370	
標準財政規模(千円)	911,210,185	
財政力指数	0.94	
経常収支比率(%)	89.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	
	連結実質赤字比率(%)	
	実質公債費比率(%)	0.1
	将来負担比率(%)	

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	26,965			
1 経常収益	26,965			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	26,965			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	26,965			
2 経常費用	26,965			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	53.3
材料費	-	-	27.1	33.0
(うち薬品費)	-	-	14.8	18.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	14.1
減価償却費	-	-	8.6	7.4
経費	-	-	22.0	17.2
(うち委託料)	-	-	11.8	10.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	26,965			
(うち支払利息)	26,965	-	0.9	0.7
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		93.0	94.3
医業収支比率	-		83.9	89.6
修正医業収支比率	-		81.0	87.6
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.2	7.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	8.5
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	7.6
実質収益対経常費用比率	100.0		81.6	87.1

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名 大阪府	
市町村・組合名	大阪市		
病院名	十三市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	200床以上～300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,752,412	
決算規模(千円)	2,064,170,370	
標準財政規模(千円)	911,210,185	
財政力指数	0.94	
経常収支比率(%)	89.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	
	連結実質赤字比率(%)	
	実質公債費比率(%)	0.1
	将来負担比率(%)	

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	92,954			
1 経常収益	92,954			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	92,954			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	92,954			
2 経常費用	92,954			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	66.2
材料費	-	-	27.1	21.2
(うち薬品費)	-	-	14.8	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	10.1
減価償却費	-	-	8.6	9.5
経費	-	-	22.0	28.6
(うち委託料)	-	-	11.8	14.4
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	92,954			
(うち支払利息)	92,954	-	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		93.0	89.9
医業収支比率	-		83.9	79.3
修正医業収支比率	-		81.0	75.9
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.2	14.1
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	17.0
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	14.6
実質収益対経常費用比率	100.0		81.6	77.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		大阪府	
市町村・組合名	堺市		
病院名	堺市立総合医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	400床以上～500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	826,161
決算規模(千円)	472,192,847
標準財政規模(千円)	241,288,915
財政力指数	0.75
経常収支比率(%)	100.0
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	141,727			
2 経常費用	141,727			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	58.1
材料費	-	-	27.1	29.1
(うち薬品費)	-	-	14.8	15.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	12.7
減価償却費	-	-	8.6	8.1
経費	-	-	22.0	18.7
(うち委託料)	-	-	11.8	10.4
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	141,727			
(うち支払利息)	141,727	-	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損	-141,727			
純損	-141,727			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		93.0	93.4
医業収支比率	-		83.9	87.3
修正医業収支比率	-		81.0	84.5
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.2	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	11.0
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	9.8
実質収益対経常費用比率	-		81.6	84.3

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				大阪府	
市町村・組合名	岸和田市				
病院名	岸和田市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透I 訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	30,575 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	33	指定病院の状況	救臨が	地	輪
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	400	72.9	72.7	69.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	400	72.9	72.7	69.1
平均在院日数(一般病床のみ)		10.9	11.2	11.3

設立団体の状況		
人口(人)	190,658	
決算規模(千円)	87,824,604	
標準財政規模(千円)	45,893,448	
財政力指数	0.61	
経常収支比率(%)	94.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.8
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	14,610,680				
1 経常収益	14,610,680				
(1) 医業収益	13,539,334				
(うち修正医業収益)	13,235,747				
入院収益	8,327,819				
外来収益	4,733,694				
診療収入計	13,061,513				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	477,821				
(うち他会計負担金)	303,587				
(2) 医業外収益	1,071,346				
(うち国・都道府県補助金)	19,546				
(うち他会計補助・負担金)	799,081				
(うち長期前受金戻入)	78,287				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	15,696,248				
2 経常費用	15,652,371				
(1) 医業費用	14,820,081				
職員給与費	7,022,859	51.9	60.8	58.1	
材料費	4,470,314	33.0	27.1	29.1	
(うち薬品費)	2,362,719	17.5	14.8	15.9	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,025,246	15.0	11.8	12.7	
減価償却費	884,880	6.5	8.6	8.1	
経費	2,380,589	17.6	22.0	18.7	
(うち委託料)	1,566,058	11.6	11.8	10.4	
研究研修費	52,907				
資産減耗費	8,532				
(2) 医業外費用	832,290				
(うち支払利息)	68,142	0.5	0.9	0.9	
(3) 特別損失	43,877				
経常損益	-1,041,691				
純損益	-1,085,568				
累積欠損金	755,806				
経常収支比率	93.3		93.0	93.4	
医業収支比率	91.4		83.9	87.3	
修正医業収支比率	89.3		81.0	84.5	
他会計繰入金対経常収益比率	7.5		12.2	9.8	
他会計繰入金対医業収益比率	8.1		14.3	11.0	
他会計繰入金対総収益比率	7.5		12.3	9.8	
実質収益対経常費用比率	86.3		81.6	84.3	

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	20,299,365
1 固定資産	14,690,715
(1) 有形固定資産	14,404,146
(2) 無形固定資産	1,108
(3) 投資その他の資産	285,461
2 流動資産	5,608,650
(1) 現金及び預金	2,228,854
(2) 未収金及び未収収益	2,177,886
(3) 貸倒引当金()	2,341
(4) 貯蔵品	104,251
3 繰延資産	-
負債合計	11,806,498
1 固定負債	7,290,932
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,839,162
(2) その他の企業債	1,063,840
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,335,010
(6) リース債務	52,920
2 流動負債	4,254,361
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,179,356
(2) その他の企業債	111,984
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	451,129
(6) リース債務	42,148
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,469,744
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	261,205
(1) 長期前受金	664,137
(2) 長期前受金収益化累計額()	402,932
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	8,492,867
1 本金	9,145,685
2 剰余金	-652,818
(1) 資本剰余金	102,988
(2) 利益剰余金	-755,806
負債・資本合計	20,299,365
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,461,792	1,102,668
資本勘定繰入	775,881	300,000
計	2,237,673	1,402,668

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	5.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				大阪府	
市町村・組合名		豊中市			
病院名		市立豊中病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	67,544 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	31	指定病院の状況	救臨が感地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	549	87.3	76.9	71.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	14	-	-	-
計	563	85.2	75.2	69.4
平均在院日数(一般病床のみ)		9.8	9.9	10.1

設立団体の状況		
人口(人)	401,558	
決算規模(千円)	192,121,373	
標準財政規模(千円)	94,539,789	
財政力指数	0.85	
経常収支比率(%)	95.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.0
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	21,952,651			
1 経常収益	21,952,651			
(1) 医業収益	20,036,910			
(うち修正医業収益)	19,529,274			
入院収益	13,159,499			
外来収益	6,096,357			
診療収入計	19,255,856			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	781,054			
(うち他会計負担金)	507,636			
(2) 医業外収益	1,915,741			
(うち国・都道府県補助金)	64,471			
(うち他会計補助・負担金)	1,037,374			
(うち長期前受金戻入)	560,010			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	23,284,190			
2 経常費用	23,284,190			
(1) 医業費用	22,175,433			
職員給与費	10,955,299	54.7	60.8	53.3
材料費	5,959,371	29.7	27.1	33.0
(うち薬品費)	3,544,847	17.7	14.8	18.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,405,875	12.0	11.8	14.1
減価償却費	1,310,171	6.5	8.6	7.4
経費	3,864,859	19.3	22.0	17.2
(うち委託料)	2,292,441	11.4	11.8	10.2
研究研修費	63,357			
資産減耗費	22,376			
(2) 医業外費用	1,108,757			
(うち支払利息)	76,930	0.4	0.9	0.7
(3) 特別損失	-			
経常損失	-1,331,539			
純損失	-1,331,539			
累積欠損金	1,779,924			
経常収支比率	94.3		93.0	94.3
医業収支比率	90.4		83.9	89.6
修正医業収支比率	88.1		81.0	87.6
他会計繰入金対経常収益比率	7.0		12.2	7.6
他会計繰入金対医業収益比率	7.7		14.3	8.5
他会計繰入金対総収益比率	7.0		12.3	7.6
実質収益対経常費用比率	87.6		81.6	87.1

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	26,379,876
1 固定資産	16,739,874
(1) 有形固定資産	16,090,554
(2) 無形固定資産	11,631
(3) 投資その他の資産	637,689
2 流動資産	9,640,002
(1) 現金及び預金	5,936,854
(2) 未収金及び未収収益	3,411,609
(3) 貸倒引当金()	17,482
(4) 貯蔵品	280,572
3 繰延資産	-
負債合計	15,531,794
1 固定負債	7,015,054
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,000,918
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	3,014,136
(6) リース債務	-
2 流動負債	4,047,515
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,484,021
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	728,621
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,739,711
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,469,225
(1) 長期前受金	9,786,245
(2) 長期前受金収益化累計額()	5,317,020
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	10,848,082
1 資本金	11,093,374
2 剰余金	-245,292
(1) 資本剰余金	1,534,632
(2) 利益剰余金	-1,779,924
負債・資本合計	26,379,876
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,527,320	1,545,010
資本勘定繰入	1,007,957	1,007,957
計	2,535,277	2,552,967

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	8.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				大阪府	
市町村・組合名	池田市				
病院名	市立池田病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透し未訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	39,005 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	28	指定病院の状況	救臨 地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	364	75.9	75.0	76.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	364	75.9	75.0	76.0
平均在院日数(一般病床のみ)		10.4	10.3	10.2

設立団体の状況		
人口(人)	104,993	
決算規模(千円)	45,524,144	
標準財政規模(千円)	24,428,377	
財政力指数	0.76	
経常収支比率(%)	99.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.8
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,752,428			
1 経常収益	12,752,428			
(1) 医業収益	12,546,364			
(うち修正医業収益)	12,356,352			
入院収益	7,659,386			
外来収益	4,446,678			
診療収入計	12,106,064			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	440,300			
(うち他会計負担金)	190,012			
(2) 医業外収益	206,064			
(うち国・都道府県補助金)	19,528			
(うち他会計補助・負担金)	68,779			
(うち長期前受金戻入)	37,830			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	14,523,513			
2 経常費用	14,523,513			
(1) 医業費用	13,781,325			
職員給与費	6,971,438	55.6	60.8	61.3
材料費	3,956,370	31.5	27.1	26.2
(うち薬品費)	2,520,830	20.1	14.8	14.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,426,250	11.4	11.8	11.2
減価償却費	562,519	4.5	8.6	8.5
経費	2,240,661	17.9	22.0	21.8
(うち委託料)	1,442,678	11.5	11.8	11.9
研究研修費	40,498			
資産減耗費	9,839			
(2) 医業外費用	742,188			
(うち支払利息)	79,191	0.6	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損失	-1,771,085			
純損失	-1,771,085			
累積欠損金	17,406,264			
経常収支比率	87.8		93.0	92.2
医業収支比率	91.0		83.9	84.6
修正医業収支比率	89.7		81.0	81.8
他会計繰入金対経常収益比率	2.0		12.2	10.8
他会計繰入金対医業収益比率	2.1		14.3	12.4
他会計繰入金対総収益比率	2.0		12.3	10.7
実質収益対経常費用比率	86.0		81.6	82.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	17,287,461
1 固定資産	12,720,974
(1) 有形固定資産	12,699,795
(2) 無形固定資産	21,179
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	4,566,487
(1) 現金及び預金	2,292,675
(2) 未収金及び未収収益	2,212,925
(3) 貸倒引当金()	12,301
(4) 貯蔵品	73,188
3 繰延資産	-
負債合計	8,842,400
1 固定負債	5,590,019
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,766,358
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,783,684
(6) リース債務	39,977
2 流動負債	3,091,228
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	916,335
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	385,912
(6) リース債務	23,465
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,674,660
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	161,153
(1) 長期前受金	388,762
(2) 長期前受金収益化累計額()	227,609
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	8,445,061
1 資本金	25,839,945
2 剰余金	-17,394,884
(1) 資本剰余金	11,380
(2) 利益剰余金	-17,406,264
負債・資本合計	17,287,461
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	580,861	258,791
資本勘定繰入	541,209	541,209
計	1,122,070	800,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	138.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		大阪府	
市町村・組合名	吹田市		
病院名	吹田市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	400床以上～500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	385,567	
決算規模(千円)	177,941,377	
標準財政規模(千円)	83,824,632	
財政力指数	0.95	
経常収支比率(%)	101.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	0.5
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	110,215			
1 経常収益	110,215			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	110,215			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	110,215			
2 経常費用	110,215			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	58.1
材料費	-	-	27.1	29.1
(うち薬品費)	-	-	14.8	15.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	12.7
減価償却費	-	-	8.6	8.1
経費	-	-	22.0	18.7
(うち委託料)	-	-	11.8	10.4
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	110,215			
(うち支払利息)	110,215	-	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		93.0	93.4
医業収支比率	-		83.9	87.3
修正医業収支比率	-		81.0	84.5
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.2	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	11.0
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	9.8
実質収益対経常費用比率	100.0		81.6	84.3

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				大阪府	
市町村・組合名	泉大津市				
病院名	泉大津市立周産期小児医療センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	19,313 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	22	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業	許可	看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	230	23.8	31.8	47.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	230	23.8	31.8	47.1
平均在院日数(一般病床のみ)		6.1	8.9	10.7

設立団体の状況		
人口(人)	74,412	
決算規模(千円)	37,712,544	
標準財政規模(千円)	18,539,111	
財政力指数	0.69	
経常収支比率(%)	100.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.4
	将来負担比率(%)	44.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,917,544			
1 経常収益	3,117,544			
(1) 医業収益	2,428,155			
(うち修正医業収益)	2,378,954			
入院収益	1,390,475			
外来収益	800,789			
診療収入計	2,191,264			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	236,891			
(うち他会計負担金)	49,201			
(2) 医業外収益	689,389			
(うち国・都道府県補助金)	49,555			
(うち他会計補助・負担金)	586,993			
(うち長期前受金戻入)	28,853			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	800,000			
(うち他会計繰入金)	800,000			
総費用	4,629,135			
2 経常費用	4,459,438			
(1) 医業費用	4,255,709			
職員給与費	2,410,620	99.3	60.8	66.2
材料費	459,293	18.9	27.1	21.2
(うち薬品費)	288,360	11.9	14.8	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	170,935	7.0	11.8	10.1
減価償却費	286,714	11.8	8.6	9.5
経費	1,091,541	45.0	22.0	28.6
(うち委託料)	547,597	22.6	11.8	14.4
研究研修費	7,301			
資産減耗費	240			
(2) 医業外費用	203,729			
(うち支払利息)	38,017	1.6	0.9	1.0
(3) 特別損失	169,697			
損益	-1,341,894			
純損益	-711,591			
累積欠損金	8,772,142			
経常収支比率	69.9		93.0	89.9
医業収支比率	57.1		83.9	79.3
修正医業収支比率	55.9		81.0	75.9
他会計繰入金対経常収益比率	20.4		12.2	14.1
他会計繰入金対医業収益比率	26.2		14.3	17.0
他会計繰入金対総収益比率	36.7		12.3	14.6
実質収益対経常費用比率	55.6		81.6	77.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	23,883,373
1 固定資産	22,562,251
(1) 有形固定資産	21,141,409
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	1,420,842
2 流動資産	1,321,122
(1) 現金及び預金	682,534
(2) 未収金及び未収収益	631,710
(3) 貸倒引当金()	491
(4) 貯蔵品	7,305
3 繰延資産	-
負債合計	22,329,598
1 固定負債	17,863,270
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	16,424,947
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	400,000
(5) 引当金	1,008,115
(6) リース債務	30,208
2 流動負債	3,155,512
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	556,165
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	143,314
(6) リース債務	11,075
(7) 一時借入金	1,800,000
(8) 未払金及び未払費用	621,717
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,310,816
(1) 長期前受金	1,540,691
(2) 長期前受金収益化累計額()	229,875
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,553,775
1 資本金	10,135,867
2 剰余金	-8,582,092
(1) 資本剰余金	190,733
(2) 利益剰余金	-8,772,825
負債・資本合計	23,883,373
不良債務	1,278,225
実質資金不足額	1,278,225
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,346,743	1,436,194
資本勘定繰入	298,748	298,748
計	1,645,491	1,734,942

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	1,278,225	50.7
令和5年度	739,373	21.6
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	348.3
健全化法上の資金不足額(千円)	251,027
健全化法上の資金不足比率(%)	3.9
地財法上の資金不足額(千円)	1,278,225
地財法上の資金不足比率(%)	50.7

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名 大阪府	
市町村・組合名	泉大津市		
病院名	泉大津急性期メディカルセンター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I 訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	30,531 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	26	指定病院の状況	救臨が 輪
許可公営企業	許可	看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	300	89.7	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	300	89.7	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		11.2	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	74,412	
決算規模(千円)	37,712,544	
標準財政規模(千円)	18,539,111	
財政力指数	0.69	
経常収支比率(%)	100.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.4
	将来負担比率(%)	44.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	239,067			
1 経常収益	239,067			
(1) 医業収益	90,809			
(うち修正医業収益)	2,186			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	90,809			
(うち他会計負担金)	88,623			
(2) 医業外収益	148,258			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	76,822			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	239,751			
2 経常費用	239,751			
(1) 医業費用	87,397			
職員給与費	-	-	60.8	61.3
材料費	-	-	27.1	26.2
(うち薬品費)	-	-	14.8	14.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	11.2
減価償却費	-	-	8.6	8.5
経費	87,397	96.2	22.0	21.8
(うち委託料)	58,665	64.6	11.8	11.9
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	152,354			
(うち支払利息)	129,684	142.8	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損失	-684			
純損失	-684			
累積欠損金	684			
経常収支比率	99.7		93.0	92.2
医業収支比率	103.9		83.9	84.6
修正医業収支比率	2.5		81.0	81.8
他会計繰入金対経常収益比率	69.2		12.2	10.8
他会計繰入金対医業収益比率	182.2		14.3	12.4
他会計繰入金対総収益比率	69.2		12.3	10.7
実質収益対経常費用比率	30.7		81.6	82.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	23,883,373
1 固定資産	22,562,251
(1) 有形固定資産	21,141,409
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	1,420,842
2 流動資産	1,321,122
(1) 現金及び預金	682,534
(2) 未収金及び未収収益	631,710
(3) 貸倒引当金()	491
(4) 貯蔵品	7,305
3 繰延資産	-
負債合計	22,329,598
1 固定負債	17,863,270
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	16,424,947
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	400,000
(5) 引当金	1,008,115
(6) リース債務	30,208
2 流動負債	3,155,512
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	556,165
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	143,314
(6) リース債務	11,075
(7) 一時借入金	1,800,000
(8) 未払金及び未払費用	621,717
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,310,816
(1) 長期前受金	1,540,691
(2) 長期前受金収益化累計額()	229,875
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,553,775
1 資本金	10,135,867
2 剰余金	-8,582,092
(1) 資本剰余金	190,733
(2) 利益剰余金	-8,772,825
負債・資本合計	23,883,373
不良債務	1,278,225
実質資金不足額	1,278,225
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	165,445	165,445
資本勘定繰入	-	1,300
計	165,445	166,745

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	1,278,225	50.7
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	348.3
健全化法上の資金不足額(千円)	251,027
健全化法上の資金不足比率(%)	3.9
地財法上の資金不足額(千円)	1,278,225
地財法上の資金不足比率(%)	50.7

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				大阪府	
市町村・組合名	貝塚市				
病院名	貝塚病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	21,079 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	18	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	249	76.5	73.3	61.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	249	76.5	73.3	61.7
平均在院日数(一般病床のみ)		6.7	7.5	8.4

設立団体の状況		
人口(人)	84,443	
決算規模(千円)	37,758,607	
標準財政規模(千円)	19,798,160	
財政力指数	0.63	
経常収支比率(%)	99.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.7
	将来負担比率(%)	12.1

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,023,036			
1 経常収益	8,022,131			
(1) 医業収益	7,398,434			
(うち修正医業収益)	7,202,734			
入院収益	4,419,984			
外来収益	2,599,518			
診療収入計	7,019,502			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	378,932			
(うち他会計負担金)	195,700			
(2) 医業外収益	623,697			
(うち国・都道府県補助金)	7,523			
(うち他会計補助・負担金)	252,547			
(うち長期前受金戻入)	302,650			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	905			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,708,319			
2 経常費用	8,708,319			
(1) 医業費用	8,300,229			
職員給与費	4,463,192	60.3	60.8	66.2
材料費	1,940,600	26.2	27.1	21.2
(うち薬品費)	1,133,288	15.3	14.8	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	756,008	10.2	11.8	10.1
減価償却費	569,266	7.7	8.6	9.5
経費	1,284,702	17.4	22.0	28.6
(うち委託料)	805,347	10.9	11.8	14.4
研究研修費	24,209			
資産減耗費	18,260			
(2) 医業外費用	408,090			
(うち支払利息)	49,029	0.7	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-686,188			
純損益	-685,283			
累積欠損金	2,686,858			
経常収支比率	92.1		93.0	89.9
医業収支比率	89.1		83.9	79.3
修正医業収支比率	86.8		81.0	75.9
他会計繰入金対経常収益比率	5.6		12.2	14.1
他会計繰入金対医業収益比率	6.1		14.3	17.0
他会計繰入金対総収益比率	5.6		12.3	14.6
実質収益対経常費用比率	87.0		81.6	77.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	6,396,242
1 固定資産	5,013,086
(1) 有形固定資産	5,009,742
(2) 無形固定資産	3,344
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,383,156
(1) 現金及び預金	234,402
(2) 未収金及び未収収益	1,146,149
(3) 貸倒引当金()	30,235
(4) 貯蔵品	31,486
3 繰延資産	-
負債合計	6,945,261
1 固定負債	3,448,019
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,085,367
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,330,872
(6) リース債務	31,780
2 流動負債	2,633,251
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	868,196
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	10,000
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	272,961
(6) リース債務	10,057
(7) 一時借入金	300,000
(8) 未払金及び未払費用	1,144,174
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	863,991
(1) 長期前受金	4,816,053
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,952,062
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-549,019
1 本金	1,328,761
2 剰余金	-1,877,780
(1) 資本剰余金	809,078
(2) 利益剰余金	-2,686,858
負債・資本合計	6,396,242
不良債務	371,899
実質資金不足額	371,899
資本不足額()	549,019
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	589,824	448,247
資本勘定繰入	462,343	475,343
計	1,052,167	923,590

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	371,899	5.0
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	36.3
健全化法上の資金不足額(千円)	20,193
健全化法上の資金不足比率(%)	0.2
地財法上の資金不足額(千円)	371,899
地財法上の資金不足比率(%)	5.0

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				大阪府	
市町村・組合名		枚方市			
病院名		市立ひらかた病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	31,587 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	24	指定病院の状況	救臨感地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	327	72.1	75.6	74.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	8	0.4	38.1	70.3
計	335	70.4	74.7	74.1
平均在院日数(一般病床のみ)		9.3	10.0	9.9

設立団体の状況		
人口(人)	397,289	
決算規模(千円)	164,457,194	
標準財政規模(千円)	84,671,319	
財政力指数	0.75	
経常収支比率(%)	98.9	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	1.9
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,451,790			
1 経常収益	10,451,288			
(1) 医業収益	8,991,582			
(うち修正医業収益)	8,600,325			
入院収益	5,716,005			
外来収益	2,585,582			
診療収入計	8,301,587			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	689,995			
(うち他会計負担金)	391,257			
(2) 医業外収益	1,459,706			
(うち国・都道府県補助金)	23,359			
(うち他会計補助・負担金)	714,803			
(うち長期前受金戻入)	519,881			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	502			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,342,513			
2 経常費用	11,342,150			
(1) 医業費用	10,816,508			
職員給与費	5,575,953	62.0	60.8	61.3
材料費	1,869,722	20.8	27.1	26.2
(うち薬品費)	890,813	9.9	14.8	14.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	972,369	10.8	11.8	11.2
減価償却費	1,049,846	11.7	8.6	8.5
経費	2,282,433	25.4	22.0	21.8
(うち委託料)	1,344,241	14.9	11.8	11.9
研究研修費	20,860			
資産減耗費	17,694			
(2) 医業外費用	525,642			
(うち支払利息)	101,363	1.1	0.9	0.9
(3) 特別損失	363			
経常損益	-890,862			
純損益	-890,723			
累積欠損金	-			
経常収支比率	92.1		93.0	92.2
医業収支比率	83.1		83.9	84.6
修正医業収支比率	79.5		81.0	81.8
他会計繰入金対経常収益比率	10.6		12.2	10.8
他会計繰入金対医業収益比率	12.3		14.3	12.4
他会計繰入金対総収益比率	10.6		12.3	10.7
実質収益対経常費用比率	82.4		81.6	82.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	15,138,627
1 固定資産	9,080,445
(1) 有形固定資産	8,570,185
(2) 無形固定資産	3,060
(3) 投資その他の資産	507,200
2 流動資産	6,058,182
(1) 現金及び預金	4,380,770
(2) 未収金及び未収収益	1,494,307
(3) 貸倒引当金()	533
(4) 貯蔵品	183,635
3 繰延資産	-
負債合計	12,556,168
1 固定負債	9,400,767
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,554,283
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,828,515
(6) リース債務	17,969
2 流動負債	2,194,054
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	923,337
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	395,578
(6) リース債務	5,015
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	787,469
(9) 前受金及び前受収益	12,440
3 繰延収益	961,347
(1) 長期前受金	4,042,886
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,081,539
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,582,459
1 本金	10,299
2 剰余金	2,572,160
(1) 資本剰余金	96,555
(2) 利益剰余金	2,475,605
負債・資本合計	15,138,627
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,106,060	1,106,060
資本勘定繰入	465,633	465,633
計	1,571,693	1,571,693

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				大阪府	
市町村・組合名	八尾市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	40,470 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	24	指定病院の状況	救臨が地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	380	76.5	71.3	70.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	380	76.5	71.3	70.2
平均在院日数(一般病床のみ)		8.4	8.4	8.8

設立団体の状況		
人口(人)	264,642	
決算規模(千円)	124,326,820	
標準財政規模(千円)	63,103,183	
財政力指数	0.69	
経常収支比率(%)	98.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	14,559,827				
1 経常収益	14,531,517				
(1) 医業収益	13,453,353				
(うち修正医業収益)	13,128,805				
入院収益	8,646,389				
外来収益	4,214,582				
診療収入計	12,860,971				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	592,382				
(うち他会計負担金)	324,548				
(2) 医業外収益	1,078,164				
(うち国・都道府県補助金)	34,511				
(うち他会計補助・負担金)	587,403				
(うち長期前受金戻入)	373,013				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	28,310				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	16,006,234				
2 経常費用	15,984,574				
(1) 医業費用	15,095,645				
職員給与費	7,350,062	54.6	60.8	61.3	
材料費	3,748,586	27.9	27.1	26.2	
(うち薬品費)	2,167,672	16.1	14.8	14.5	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,580,914	11.8	11.8	11.2	
減価償却費	919,107	6.8	8.6	8.5	
経費	3,023,411	22.5	22.0	21.8	
(うち委託料)	2,473,064	18.4	11.8	11.9	
研究研修費	36,743				
資産減耗費	17,736				
(2) 医業外費用	888,929				
(うち支払利息)	136,895	1.0	0.9	0.9	
(3) 特別損失	21,660				
経常損益	-1,453,057				
純損益	-1,446,407				
累積欠損金	-				
経常収支比率	90.9		93.0	92.2	
医業収支比率	89.1		83.9	84.6	
修正医業収支比率	87.0		81.0	81.8	
他会計繰入金対経常収益比率	6.3		12.2	10.8	
他会計繰入金対医業収益比率	6.8		14.3	12.4	
他会計繰入金対総収益比率	6.3		12.3	10.7	
実質収益対経常費用比率	85.2		81.6	82.3	

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	20,590,776
1 固定資産	13,473,367
(1) 有形固定資産	13,473,225
(2) 無形固定資産	142
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	7,117,409
(1) 現金及び預金	4,870,270
(2) 未収金及び未収収益	2,151,100
(3) 貸倒引当金()	5,203
(4) 貯蔵品	91,264
3 繰延資産	-
負債合計	17,772,869
1 固定負債	10,968,100
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,158,886
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,702,611
(6) リース債務	-
2 流動負債	4,670,853
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,325,705
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	484,225
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,812,636
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,133,916
(1) 長期前受金	7,589,800
(2) 長期前受金収益化累計額()	5,455,884
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,817,907
1 資本金	2,797,285
2 剰余金	20,622
(1) 資本剰余金	18,025
(2) 利益剰余金	2,597
負債・資本合計	20,590,776
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	911,951	911,951
資本勘定繰入	203,980	203,980
計	1,115,931	1,115,931

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名 大阪府	
市町村・組合名	泉佐野市		
病院名	泉佐野病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	300床以上～400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	100,131
決算規模(千円)	89,887,332
標準財政規模(千円)	24,888,542
財政力指数	0.84
経常収支比率(%)	103.0
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
将来負担比率(%)	7.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	77,087			
1 経常収益	77,087			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	77,087			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	77,087			
2 経常費用	77,087			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	61.3
材料費	-	-	27.1	26.2
(うち薬品費)	-	-	14.8	14.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	11.2
減価償却費	-	-	8.6	8.5
経費	-	-	22.0	21.8
(うち委託料)	-	-	11.8	11.9
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	77,087			
(うち支払利息)	77,087	-	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		93.0	92.2
医業収支比率	-		83.9	84.6
修正医業収支比率	-		81.0	81.8
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.2	10.8
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	12.4
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	10.7
実質収益対経常費用比率	100.0		81.6	82.3

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				大阪府	
市町村・組合名		和泉市			
病院名		市立病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	33,444 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	35	指定病院の状況	救臨が地輪		
許可公営企業	許可	看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	307	99.1	95.1	93.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	307	99.1	95.1	93.1
平均在院日数(一般病床のみ)		10.5	10.5	11.5

設立団体の状況		
人口(人)	184,495	
決算規模(千円)	79,283,741	
標準財政規模(千円)	38,949,922	
財政力指数	0.69	
経常収支比率(%)	94.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	703,050			
1 経常収益	703,050			
(1) 医業収益	221,868			
(うち修正医業収益)	26,717			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	221,868			
(うち他会計負担金)	195,151			
(2) 医業外収益	481,182			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	62,754			
(うち長期前受金戻入)	333,502			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,079,807			
2 経常費用	1,079,807			
(1) 医業費用	980,320			
職員給与費	-	-	60.8	61.3
材料費	-	-	27.1	26.2
(うち薬品費)	-	-	14.8	14.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	11.2
減価償却費	729,275	328.7	8.6	8.5
経費	249,672	112.5	22.0	21.8
(うち委託料)	27,222	12.3	11.8	11.9
研究研修費	-			
資産減耗費	1,373			
(2) 医業外費用	99,487			
(うち支払利息)	68,888	31.0	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損益	-376,757			
純損益	-376,757			
累積欠損金	14,635,650			
経常収支比率	65.1		93.0	92.2
医業収支比率	22.6		83.9	84.6
修正医業収支比率	2.7		81.0	81.8
他会計繰入金対経常収益比率	36.7		12.2	10.8
他会計繰入金対医業収益比率	116.2		14.3	12.4
他会計繰入金対総収益比率	36.7		12.3	10.7
実質収益対経常費用比率	41.2		81.6	82.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	10,805,259
1 固定資産	10,704,405
(1) 有形固定資産	10,703,202
(2) 無形固定資産	1,203
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	100,854
(1) 現金及び預金	39,632
(2) 未収金及び未収収益	61,222
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	12,383,600
1 固定負債	11,109,689
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,750,977
(2) その他の企業債	358,712
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	959,857
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	770,891
(2) その他の企業債	88,113
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	98,196
(9) 前受金及び前受収益	657
3 繰延収益	314,054
(1) 長期前受金	2,340,492
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,026,438
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-1,578,341
1 資本金	10,832,831
2 剰余金	-12,411,172
(1) 資本剰余金	2,224,478
(2) 利益剰余金	-14,635,650
負債・資本合計	10,805,259
不良債務	88,112
実質資金不足額	88,112
資本不足額()	1,578,341
資本不足額(繰延収益控除後)()	1,264,287
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	253,554	257,905
資本勘定繰入	524,583	742,873
計	778,137	1,000,778

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	88,112	39.7
令和5年度	88,112	41.1
令和4年度	88,113	40.5

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	6596.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	446,824
地財法上の資金不足比率(%)	201.3

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				大阪府	
市町村・組合名	箕面市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	34,067 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	26	指定病院の状況	救臨	地	輪
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	317	66.1	66.8	69.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	317	66.1	66.8	69.3
平均在院日数(一般病床のみ)		10.0	10.0	10.2

設立団体の状況		
人口(人)	136,868	
決算規模(千円)	83,087,113	
標準財政規模(千円)	31,400,508	
財政力指数	0.89	
経常収支比率(%)	90.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.2
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,371,852			
1 経常収益	11,298,154			
(1) 医業収益	7,828,825			
(うち修正医業収益)	7,700,098			
入院収益	5,129,638			
外来収益	2,396,285			
診療収入計	7,525,923			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	302,902			
(うち他会計負担金)	128,727			
(2) 医業外収益	3,469,329			
(うち国・都道府県補助金)	17,811			
(うち他会計補助・負担金)	3,306,910			
(うち長期前受金戻入)	64,820			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	73,698			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,361,602			
2 経常費用	11,344,017			
(1) 医業費用	10,958,442			
職員給与費	6,758,928	86.3	60.8	61.3
材料費	1,908,939	24.4	27.1	26.2
(うち薬品費)	991,707	12.7	14.8	14.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	868,572	11.1	11.8	11.2
減価償却費	614,029	7.8	8.6	8.5
経費	1,636,857	20.9	22.0	21.8
(うち委託料)	851,242	10.9	11.8	11.9
研究研修費	30,915			
資産減耗費	8,774			
(2) 医業外費用	385,575			
(うち支払利息)	5,409	0.1	0.9	0.9
(3) 特別損失	17,585			
損益	-45,863			
純損益	10,250			
累積欠損金	11,869,207			
経常収支比率	99.6		93.0	92.2
医業収支比率	71.4		83.9	84.6
修正医業収支比率	70.3		81.0	81.8
他会計繰入金対経常収益比率	30.4		12.2	10.8
他会計繰入金対医業収益比率	43.9		14.3	12.4
他会計繰入金対総収益比率	30.2		12.3	10.7
実質収益対経常費用比率	69.3		81.6	82.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	10,828,841
1 固定資産	8,925,113
(1) 有形固定資産	8,921,017
(2) 無形固定資産	1,186
(3) 投資その他の資産	2,910
2 流動資産	1,903,728
(1) 現金及び預金	637,954
(2) 未収金及び未収収益	1,155,935
(3) 貸倒引当金()	4,596
(4) 貯蔵品	114,435
3 繰延資産	-
負債合計	5,123,653
1 固定負債	2,894,741
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	850,870
(2) その他の企業債	402,000
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	1,300,000
(5) 引当金	-
(6) リース債務	341,871
2 流動負債	1,609,921
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	395,268
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,099,354
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	618,991
(1) 長期前受金	1,253,759
(2) 長期前受金収益化累計額()	634,768
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	5,705,188
1 資本金	16,162,929
2 剰余金	-10,457,741
(1) 資本剰余金	1,406,466
(2) 利益剰余金	-11,864,207
負債・資本合計	10,828,841
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	486,416	3,435,637
資本勘定繰入	338,222	5
計	824,638	3,435,642

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	151.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				大阪府	
市町村・組合名	柏原市				
病院名	市立柏原病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	18,350 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	16	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	220	67.6	60.2	50.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	220	67.6	60.2	50.4
平均在院日数(一般病床のみ)		14.9	13.1	12.0

設立団体の状況		
人口(人)	68,775	
決算規模(千円)	29,120,958	
標準財政規模(千円)	16,324,187	
財政力指数	0.58	
経常収支比率(%)	100.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.6
	将来負担比率(%)	5.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,614,066			
1 経常収益	4,613,855			
(1) 医業収益	4,146,222			
(うち修正医業収益)	4,052,066			
入院収益	2,712,469			
外来収益	1,122,710			
診療収入計	3,835,179			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	311,043			
(うち他会計負担金)	94,156			
(2) 医業外収益	467,633			
(うち国・都道府県補助金)	3,023			
(うち他会計補助・負担金)	186,971			
(うち長期前受金戻入)	157,200			
(うち資本費繰入収益)	82,037			
(3) 特別利益	211			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,333,923			
2 経常費用	5,333,923			
(1) 医業費用	5,058,847			
職員給与費	2,923,456	70.5	60.8	66.2
材料費	827,431	20.0	27.1	21.2
(うち薬品費)	496,906	12.0	14.8	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	286,350	6.9	11.8	10.1
減価償却費	355,386	8.6	8.6	9.5
経費	941,148	22.7	22.0	28.6
(うち委託料)	614,913	14.8	11.8	14.4
研究研修費	5,951			
資産減耗費	5,475			
(2) 医業外費用	275,076			
(うち支払利息)	51,051	1.2	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-720,068			
純損益	-719,857			
累積欠損金	1,097,455			
経常収支比率	86.5		93.0	89.9
医業収支比率	82.0		83.9	79.3
修正医業収支比率	80.1		81.0	75.9
他会計繰入金対経常収益比率	6.1		12.2	14.1
他会計繰入金対医業収益比率	6.8		14.3	17.0
他会計繰入金対総収益比率	6.1		12.3	14.6
実質収益対経常費用比率	81.2		81.6	77.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	7,490,707
1 固定資産	4,683,971
(1) 有形固定資産	4,615,489
(2) 無形固定資産	38,232
(3) 投資その他の資産	30,250
2 流動資産	2,806,736
(1) 現金及び預金	2,092,972
(2) 未収金及び未収収益	709,134
(3) 貸倒引当金()	14,786
(4) 貯蔵品	19,386
3 繰延資産	-
負債合計	5,598,953
1 固定負債	3,382,770
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,377,898
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,003,558
(6) リース債務	1,314
2 流動負債	1,058,334
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	456,704
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	171,160
(6) リース債務	717
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	413,100
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,157,849
(1) 長期前受金	7,027,374
(2) 長期前受金収益化累計額()	5,869,525
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,891,754
1 資本金	1,457,261
2 剰余金	434,493
(1) 資本剰余金	131,948
(2) 利益剰余金	302,545
負債・資本合計	7,490,707
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	279,762	281,127
資本勘定繰入	263,014	520,721
計	542,776	801,848

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	26.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		大阪府	
市町村・組合名	藤井寺市		
病院名	市立藤井寺市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	否
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	13.1	36.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	13.1	36.6
平均在院日数(一般病床のみ)		-	15.9	10.6

設立団体の状況	
人口(人)	63,688
決算規模(千円)	27,039,243
標準財政規模(千円)	15,105,489
財政力指数	0.59
経常収支比率(%)	96.8
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,464			
2 経常費用	9,464			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	82.0
材料費	-	-	27.1	14.2
(うち薬品費)	-	-	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	6.1
減価償却費	-	-	8.6	12.5
経費	-	-	22.0	34.4
(うち委託料)	-	-	11.8	16.9
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	9,464			
(うち支払利息)	9,464	-	0.9	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損益	-9,464			
純損益	-9,464			
累積欠損金	9,464			
経常収支比率	-		93.0	93.1
医業収支比率	-		83.9	69.6
修正医業収支比率	-		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	-		81.6	68.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	615,253
1 固定資産	574,277
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	574,277
2 流動資産	40,976
(1) 現金及び預金	40,976
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	624,717
1 固定負債	570,236
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	434,247
(2) その他の企業債	135,989
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	54,481
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	40,234
(2) その他の企業債	14,247
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-9,464
1 資本金	-
2 剰余金	-9,464
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-9,464
負債・資本合計	615,253
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	9,464
資本不足額(繰延収益控除後)()	9,464
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		大阪府	
市町村・組合名	東大阪市		
病院名	総合病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	493,940
決算規模(千円)	229,750,791
標準財政規模(千円)	118,178,032
財政力指数	0.73
経常収支比率(%)	95.2
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	96,867			
1 経常収益	96,867			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	96,867			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	96,867			
2 経常費用	96,867			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	53.3
材料費	-	-	27.1	33.0
(うち薬品費)	-	-	14.8	18.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	14.1
減価償却費	-	-	8.6	7.4
経費	-	-	22.0	17.2
(うち委託料)	-	-	11.8	10.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	96,867			
(うち支払利息)	96,867	-	0.9	0.7
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		93.0	94.3
医業収支比率	-		83.9	89.6
修正医業収支比率	-		81.0	87.6
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.2	7.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	8.5
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	7.6
実質収益対経常費用比率	100.0		81.6	87.1

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				大阪府	
市町村・組合名	阪南市				
病院名	阪南市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	14,965 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	24	指定病院の状況	救 輸		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	185	88.7	86.4	77.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	185	88.7	86.4	77.6
平均在院日数(一般病床のみ)		14.7	13.4	13.1

設立団体の状況		
人口(人)	51,254	
決算規模(千円)	22,018,972	
標準財政規模(千円)	11,719,109	
財政力指数	0.51	
経常収支比率(%)	96.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.0
	将来負担比率(%)	29.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	315,166			
1 経常収益	315,166			
(1) 医業収益	9,524			
(うち修正医業収益)	9,524			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	9,524			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	305,642			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	234,946			
(うち長期前受金戻入)	3,326			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	347,920			
2 経常費用	347,920			
(1) 医業費用	313,575			
職員給与費	-	-	60.8	69.3
材料費	-	-	27.1	18.4
(うち薬品費)	-	-	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.1
減価償却費	63,488	666.6	8.6	10.8
経費	248,749	2611.8	22.0	29.9
(うち委託料)	19,106	200.6	11.8	13.7
研究研修費	-			
資産減耗費	1,338			
(2) 医業外費用	34,345			
(うち支払利息)	31,416	329.9	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-32,754			
純損益	-32,754			
累積欠損金	8,886			
経常収支比率	90.6		93.0	91.6
医業収支比率	3.0		83.9	77.4
修正医業収支比率	3.0		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	74.5		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	2466.9		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	74.5		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	23.1		81.6	75.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	2,219,062
1 固定資産	2,051,822
(1) 有形固定資産	2,050,089
(2) 無形固定資産	1,733
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	167,240
(1) 現金及び預金	162,102
(2) 未収金及び未収収益	5,138
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	2,121,236
1 固定負債	1,930,520
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,930,520
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	116,333
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	98,895
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	17,102
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	74,383
(1) 長期前受金	322,679
(2) 長期前受金収益化累計額()	248,296
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	97,826
1 資本金	106,712
2 剰余金	-8,886
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-8,886
負債・資本合計	2,219,062
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	49,856	234,946
資本勘定繰入	48,716	48,716
計	98,572	283,662

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	93.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。